

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	鹿嶋市						
地域内総人口 (人)	64,849人 (令和6年6月1日現在)						
地域総面積 (km <sup>2</sup> )	106.04 k m <sup>2</sup> (令和6年6月1日現在)						
地域の要件	人口						
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称 (設立年月日)							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	平成31年4月1日
終了年月日	令和6年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項  
 ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

確認した都道府県の 広域化・集約化計画の名称	

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の 場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		令和□□年度	令和6年度	令和▲▲年度	実績/目標
①総人口(人)					
排出量	事業系ごみ排出量(トン)				0%
	生活系ごみ排出量(トン)				0%
	1人1日当たりのごみ排出量(g/人日)	0	0	0	0%
	その他排出量(集団回収等)				0%
	総排出量(トン)	0	0	0	0%
	1人1日当たりの排出量(g/人日)	0	0	0	0%
再生利用量	総資源化量(トン)				0%
	総排出量に占める総資源化量の割合(%)	0	0	0	
最終処分量	埋立最終処分量(トン)				0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合(%)	0	0	0	
エネルギー回収量	年間の発電電力量(MWH)				
	年間の熱利用量(GJ)				
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

## (生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成29年度現状		令和5年度目標		令和5年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	33,750人	50.3%	34,756人	52.8%	34,550人	52.8%
	農業集落排水施設等	1,699人	2.5%	2,106人	3.2%	1,586人	2.4%
	合併処理浄化槽等	24,267人	36.2%	24,224人	36.8%	18,991人	29.0%
	小計：汚水衛生処理人口	59,716人	89.1%	61,086人	92.8%	55,127人	84.2%
	単独処理浄化槽等	6,588人	9.8%	4,100人	6.2%	4,448人	6.8%
	非水洗化人口	751人	1.1%	640人	1.0%	5,918人	9.0%
	小計：未処理人口	7,339人	10.9%	4,740人	7.2%	10,366人	15.8%
	合計：総人口	67,055人	100.0%	65,826人	100.0%	65,493人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	115.83キロリットル		73.58キロリットル		34.58キロリットル	
	浄化槽汚泥量	22,346.39キロリットル		20,998.90キロリットル		22,108.93キロリットル	
	合計	22,462.22キロリットル		21,072.48キロリットル		22,143.51キロリットル	

### 3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況										
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項											
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項											
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項											
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項											
オ. 処理形態別人口に関する事項											
カ. し尿・汚泥の量に関する事項											
その他	<p>補助金を利用し合併浄化槽の基数を増やし、処理人口の増加を進めた。</p> <table data-bbox="371 970 672 1141"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>59基</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>99基</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>117基</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>78基</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>55基</td> </tr> </table>	令和元年度	59基	令和2年度	99基	令和3年度	117基	令和4年度	78基	令和5年度	55基
令和元年度	59基										
令和2年度	99基										
令和3年度	117基										
令和4年度	78基										
令和5年度	55基										

#### 4 目標の達成状況に関する評価

令和元年度から令和5年度の循環型社会形成推進地域計画（5ヵ年計画）において、浄化槽整備予定基数400基に対し、408基の整備を行ったことから計画はおおむね達成したと思料される。

一方で、汚水衛生処理人口については令和2年度分から1基あたりの人口数を3人から実人数（当該年度末の市町村人口/世帯数）に変更し、実情に近づけたことから、当初の目標であった24,224人から、18,991人と大幅に減少する結果となってしまった。（1基あたり3人のまま積算を続けた場合27,027人で目標達成となる。）

以上のことから生活排水による公共用水域の汚濁を防止し、生活環境の保全・公衆衛生の向上を図るという当初の目的はおおむね達成されたものと思料される。

#### （都道府県知事の所見）

目標年度において、未処理人口における目標を概ね達成することができ、公共用水域の水質改善に寄与したと考えられる。さらなる公共用水域の水質改善に向けて、引き続き生活排水対策に取り組んでいただきたい。

※令和6年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。